

「市立中学校のあり方についての提言」内容説明会 主な質問・意見

学区再編・学校統合を進めてほしい

- ・子どもの教育を考えれば理解できる。学区再編の先送りはできない。
- ・子どもが統合した学校をうらやましいと言っていた。早めに統合するよう検討してほしい。
- ・子どもが減ってきているので1市1校でよい。
- ・将来生徒数の推計値は緩やかな減少を見込んでいるが、楽観的だ。もっと厳しいはず。今すぐ方向性を出すべき。
- ・複式学級でしっかり学べるのか。生徒数の確保は大切。提言をベースに進めてほしい。
- ・複式学級では学力面で不安がある。提言内容のとおり、学区再編を進めてほしい。

地域に中学校を残してほしい

- ・地域あつての学校、学校あつての地域。地域も学校も守ってほしい。
- ・地域に保育園・小学校・中学校があることがベスト。地域に残せないか検討してほしい。
- ・統合ありきでなく、統合しない方策を考えているか。
- ・統合で子どもが孤立しないか心配。統合せず、遠隔授業や合同学習で対応することもできるのではないか。
- ・市の中心に中学校が統合され、端の地域は取り残されていく。ただまとめて大きくすることは寂しい。

今後の進め方・スケジュール

- ・具体的にはどのように進むのか。
- ・今後どのように進めていくのか。
- ・10年後の再編についてはどうやって決めるのか。
- ・統合まで時間がかかるのか。
- ・時間はあつという間に過ぎる。スピード感、スケジュール等はどうなっているのか。
- ・「10年後より早めることはあつても…」とあるが具体的に教えてほしい。
- ・段階を踏まずに1校もありうるのか。
- ・以前は、中学校を新たに建設するお金がないので、人口減少状況に合わせて統合していくとのことだったがどうなったか。
- ・中学校統合における振興会の役割はどうなるのか。
- ・地域の意思決定のやり方はどうなるのか。
- ・市の方向性や方針を一つしっかり出してほしい。地域に投げてもまとまらない。
- ・市の方針を示してもらえれば検討しやすい。どうしても地元をより良くしたいと考えてしまう。

具体的な学区・組合せ、設置場所

- ・統合についての案はあるか。
- ・学区を示さず再編するよう促している。学区が知りたい。
- ・新設する場合の立地等は決まっているか。

子どもや保護者の声・意見の反映

- ・子どもの意見を聞いたことがあるか。
- ・子どもたちは統合したいという意見が多い学校もあると聞いた。
- ・中学生がどうしたいか把握する必要があると思う。
- ・現在の保育園児、小学生、中学生の保護者の声はどうか。
- ・アンケートを取るならメリット・デメリットをしっかりと示してほしい。
- ・保護者が賛成しても地域が反対したら学区再編を先送りするのか。
- ・地域内での議論が難しい。保護者の中でも地域の中でもいろいろな意見があり、自由に発言できない。様々な意見をまとめることも難しい。
- ・自治組織の役員だけで偏った判断にならないようにしてほしい。

人口減少対策・地域振興策

- ・人口減少に対して地域づくりの話がない。学校統合の話だけではない。
- ・地域のあり方も併せて考えないとダメ。人口減少を緩やかにするには、地域のあり方を考える必要がある。
- ・市全体のビジョンの中で中学校をどうするか考える必要がある。
- ・生徒を増やすことを考えてほしい。学校がなくなると地域は廃る。
- ・子どもの減少を鈍化させることを考える必要がある。働く場所を作って働く人を呼び込む政策、U I ターンや移住を含めて若い人を呼び込む政策など、市が人口を増やす、人口減少を鈍化させることが重要なのではないか。
- ・人口が減る前提の話だが、市として人口を増やす施策を考える必要がある。
- ・十日町市のまちづくり、地域振興をどのように考えているのか。

市外学校への流出

- ・市外の中学校に通っている生徒はどこにどのように通っているのか。
- ・市外の中学校に行っている理由を分析しているか。
- ・今後も市外の中学校へ行くことを見込むのか。
- ・市外から中学生を呼び込むような方策を考えるべきではないか。
- ・市外流出を防ぐ方策はあるか。市内に通うようにすることはできないか。

通学距離・通学方法

- ・学区が再編された場合の通学方法はどうなるのか。
- ・遠距離集落に1人だけでもスクールバスで対応するのか。
- ・中心部に集めることが良いことなのか、通学面を含めて考えてほしい。
- ・通学時間は概ね1時間以内とあるが、中心部と周辺部で格差が生まれませんか心配。
- ・統合した場合の通学時間が心配。概ね1時間以内とあるが、安全面や災害など心配。
- ・通学時間1時間では子どもは嫌になる。中心部に学校を統合するのではなく、中心部の学校が外の学校に統合してほしい。
- ・自分の子どもは1時間以上かけて市外に通学したが、慣れるので問題ない。

教職員の配置基準

- ・教職員の配置基準は国の基準なのか。
- ・教職員の配置基準が変わることはあるのか。
- ・国が教職員の配置基準の見直しをすればよいのではないか。
- ・学級数によって決まる教職員の数を、十日町市で変えることはできるか。
- ・教職員配置は、市費で加配することはできないのか。
- ・資格のない人が教職員をフォローする仕組みはないのか。
- ・教職員の配置基準を今後変えていかないと日本の教育はダメになると思う。
- ・学級数に応じて教職員配置が決まるというのは、差別ではないかと感じる。

学級規模・適正規模

- ・学級の編成基準は国の基準なのか。
- ・中学校が1校になった場合、学力に応じたクラス分けはできるか。
- ・「3学級の適正規模」とあるが、本当に3学級が適正規模なのか。
- ・1学年複数学級がそんなに重要なことで、子どもたちにとって本当に良いことなのか。
- ・目指すべき子どもの姿は理解したが、1学年2～3学級でなければということでは理解できない。
1学年1学級でもリーダーシップや責任感があり目指すべき子ども像になっている。
- ・世界の学校は、100人～200人ぐらいの小規模化がスタンダード。

小規模校のメリット・デメリット

- ・大きい学校ほどいじめや不登校などの問題が多いと思う。
- ・複式学級が悪いとは思わない。発表の場が多く、いろいろな体験ができる。
- ・小規模校の良さがある。学区外からや躓いてしまった子どもも来ている。

小中一貫教育・義務教育学校

- ・小中一貫教育の今後の方向性はどうなるのか。
- ・小中一貫教育の市内の状況はどうなっているか。
- ・義務教育学校は大事な視点だと思う。義務教育学校の検討は行ったか。

小学校の統合

- ・小学校の統合は今後どうなるのか。
- ・小学校の統合も時機を逸することがないようにしてほしい。

地域への配慮

- ・地域への配慮があやふや。
- ・大きい学校は地域との関わりが少なくなる。ふるさと教育を考えてほしい。
- ・地域の文化は地域が小さいほうが良い。地域が大きくなると地域の文化が見えなくなる。
- ・子どもは少ないが、松之山の子育て環境の満足度は高い。
- ・地域の伝統文化を継承してほしい。

30年後のことはわからない

- ・30年後なんて誰もわからない。
- ・30年後のことは分からないから議論する必要ない。それより10年後の計画をしっかりと立て、その先はその都度考えたほうがよい。もっと身近で現実味のある説明をしてほしい。

部活動

- ・部活動の今後の方向性はどうなるのか。
- ・先生が少なくなり部活ができなくなる。定年が年々延長されている中で地域指導者も難しい。

市の財政

- ・市や県は財力がないと思う。新校舎の新設や改修を実現する財源が市にはあるのか。

提言内容

- ・令和元年の方針では1学年2学級以上が、今回3学級に変わった理由は。
- ・提言を作成するために、全国、世界の事例をどれだけ調べたのか。日本の教育のやり方は古い。異学年で学ぶことは世界ではスタンダード。どれだけ本気で汗かいて学び、提言を作ったのか。
- ・学びの多様化学校について、県内や十日町市近辺での状況を教えてほしい。
- ・統合のメリット・デメリットをどう考え、どう捉えたのか。
- ・提言に魅力を感じない。30年後、自分の子どもや孫が子育てする姿が想像できない。
- ・提言に市が従うことは納得できない。
- ・提言で30年後1校となった経緯は。
- ・30年後に全市で1校とすることは理解できるが、その過程で2～3校とする姿が見えない。
- ・長期的視点に立つ適正な配置が注目されるが、中期的視点に立つ適正な配置も大切だし重要。
- ・まつのやま学園の存続が書かれていないのが残念。地域性や小規模の良さが書かれていない。

その他（提言外）

- ・PTA活動が負担。PTA活動は必要なのか。
- ・放課後児童クラブは、小学6年生まで可能にしてほしい。